LGWAN

Local Government Wide Area Network

総合行政ネットワーク

No. 145

特集　LGWAN-ASPサービスの登録状況について

LGWAN-ASPとは、府省、地方公共団体、公益法人、民間企業等がASP（アプリケーションサービスプロバイダ）として、LGWANを通じて、サービス利用者である地方公共団体に各種行政事務サービスを提供するものです。平成14年度に登録が始まり、平成15年度から本格的なサービスが開始されました。以来、多くのサービスが提供され、地方公共団体において利用されています。

今回は、LGWAN-ASPの目的及び構成について説明した後、現在のLGWAN-ASPサービスの登録状況について分析します。

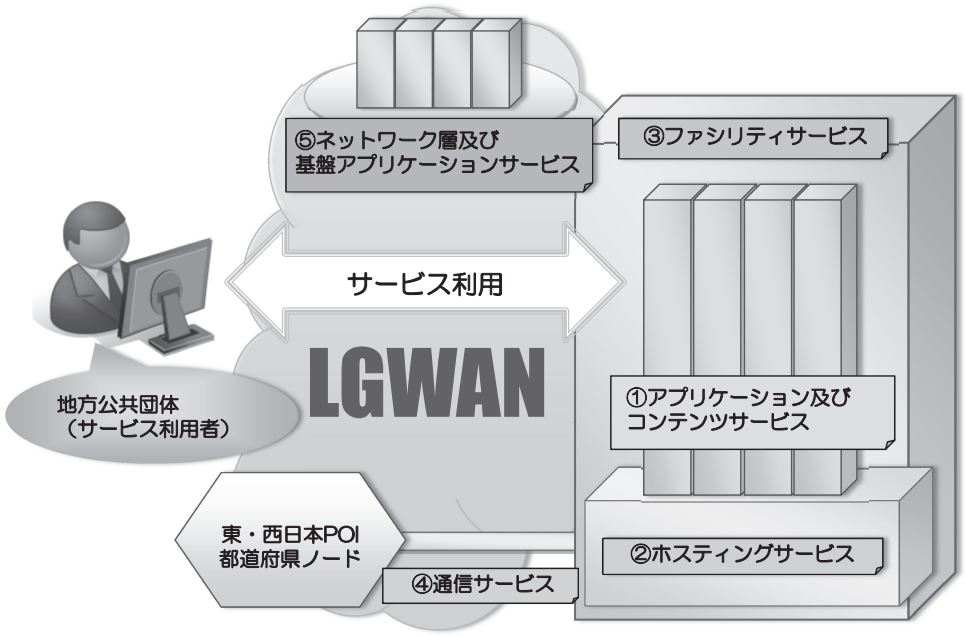
1　LGWAN-ASPの目的

LGWAN-ASPは、地方公共団体が品質及びサービスレベルの高いアプリケーションを共同利用することにより、地方公共団体間のIT格差を軽減するとともに、地方公共団体のIT化を促進することを目的としています。また、地方公共団体が独自にシステムを構築するよりも、標準的で経済的なシステムを導入・運用することも目的の一つです。

2　LGWAN-ASPの構成

LGWAN-ASPは、図－1に示すとおり、五つの

図－1　LGWAN-ASPの構成



サービス層から構成されています。LGWAN-ASPサービス提供者は、これらのサービスを地方公共団体又は他のLGWAN-ASPサービス提供者に対して提供します。

①アプリケーション及びコンテンツサービス

各種アプリケーションや情報コンテンツ等を提供します。

②ホスティングサービス

アプリケーション及びコンテンツサービスが稼働するために必要となるサーバ機器や通信機器を提供するとともに、その運用管理を行います。

③ファシリティサービス

ホスティングサービスを構成する機器の設置スペース、電源及び空調、そのための建屋等のファシリティ設備を提供します。

④通信サービス

ホスティングサービスの構成機器をLGWANに接続するための専用回線を提供します。

⑤ネットワーク層及び基盤アプリケーションサービス

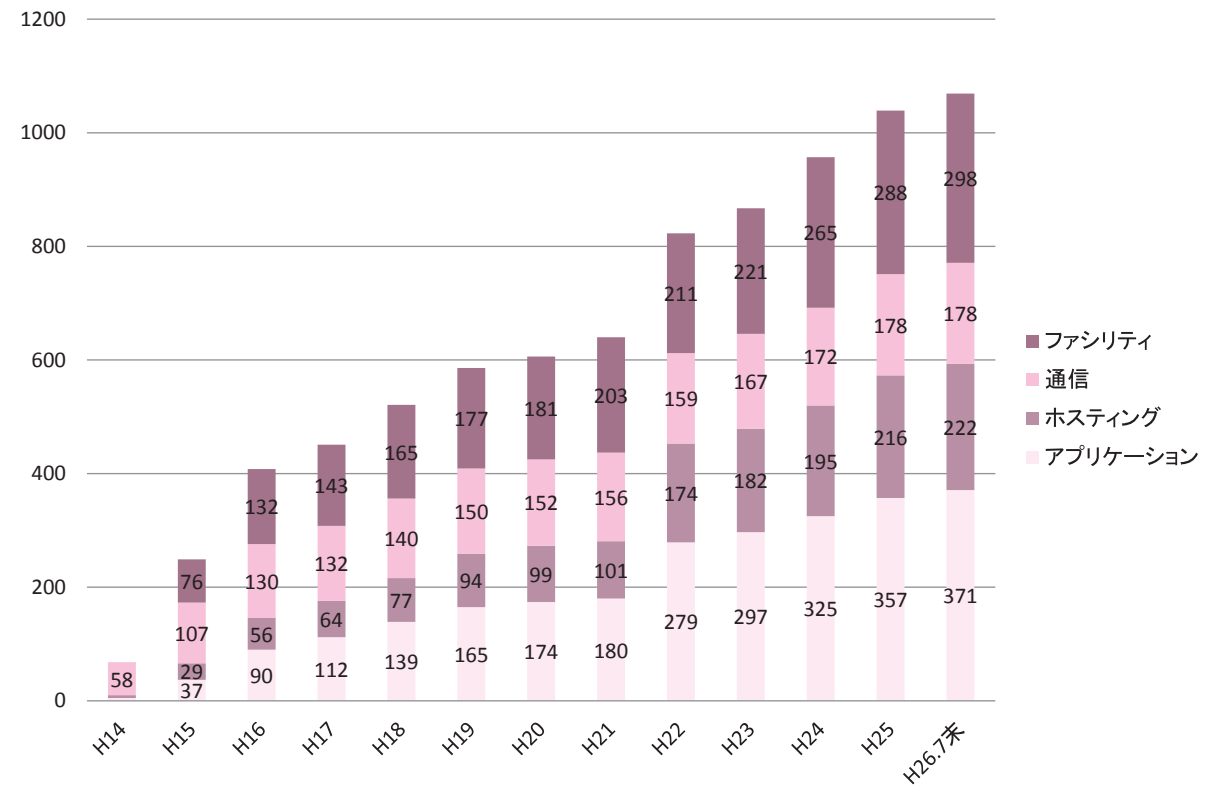
IPアドレス、ドメイン名管理、基本プロトコル群（DNS、SMTP、NTP等）及びアプリケーション基盤（認証基盤（LGPKI）、ディレクトリ基盤等）を提供します。これらは、LGWAN運営主体が自らの基盤サービスとして提供します。

以上のサービスの中で、地方公共団体が利用者となって直接利用するのは、①のアプリケーション及びコンテンツサービスです。

3 LGWAN-ASP登録数の推移

LGWAN-ASPサービスの登録数は、図－２のとおり年々増加しており、平成25年度には総数が1,000件を超えました。地方公共団体が直接利用するアプリケーション及びコンテンツサービスも年々増加しており、その種類も増えています。

図－２ LGWAN-ASP登録数の推移



4 アプリケーション及びコンテンツサービスの分析

図－２のとおり、平成26年７月末現在のアプリケーション及びコンテンツサービスの登録数は371件です。

アプリケーション及びコンテンツサービスの提供者は図－３のとおりです。このうち、地方公共団体が提供するサービスの例としては、都道府県が提供する電子申請システムのように都道府県及び管内の市区町村が利用するサービス等が挙げられます。

LGWAN-ASPサービスとして提供されている行政事務サービスには、様々なものがあります。

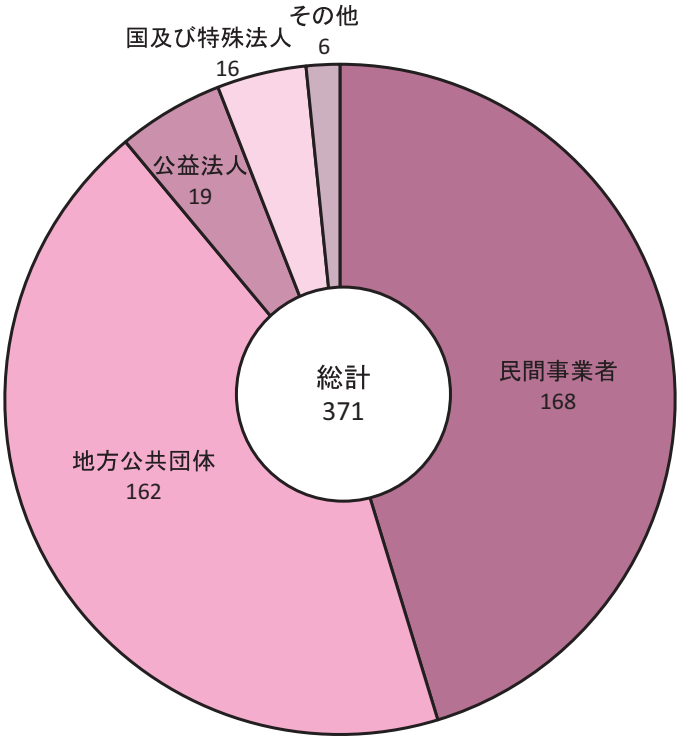
LGWAN-ASPサービスを開始する際、もしくは変更する際に、LGWAN-ASPサービス提供者がLGWAN運営主体に提出する申込書には、行政事務分野（提供するサービスがどのような分野で利用されるものであるか）及びシステム分野（どのようなシステム的特徴があるか）について記載する項目があります。これらをまとめたのが、図－４と図－５です。

図－４から、「税務・財務・出納」と「総務・企画」において利用されるアプリケーション及びコンテンツサービスが全体の約半数を占めていることが分かります。近年の傾向としては、「部門を特定しない」基幹業務全般に渡るサービスやグループウェア等の登録件数が増えています。

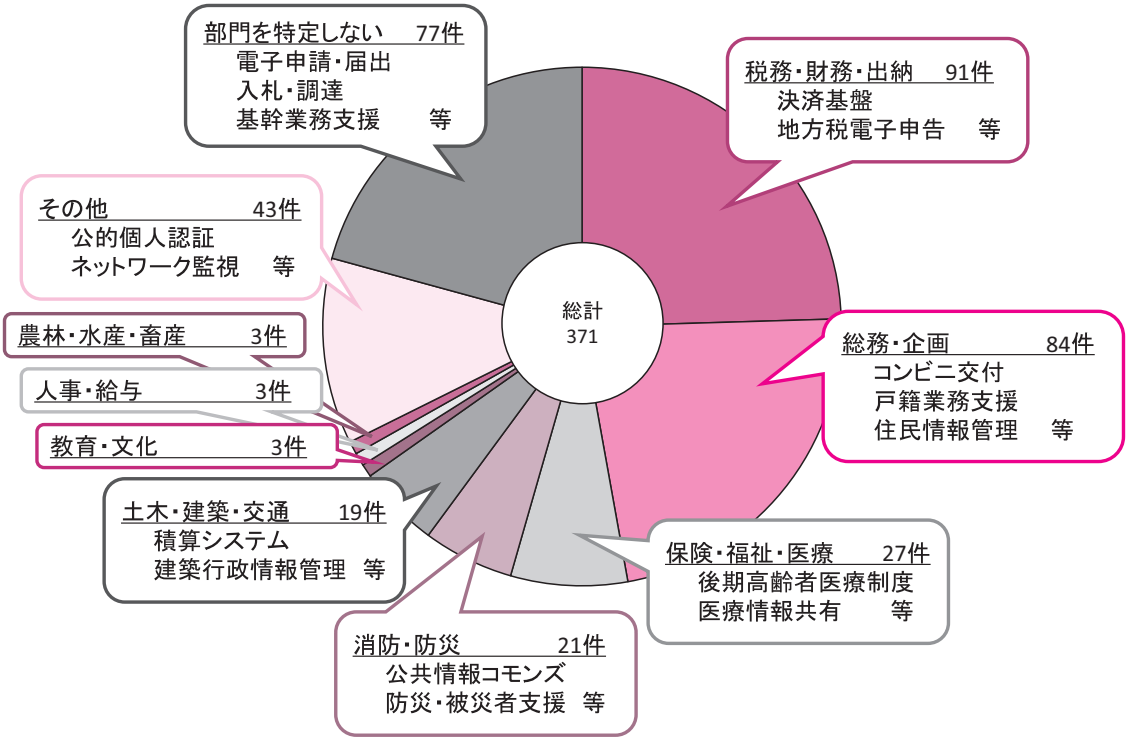
また、図－５からは「行政情報管理・共有」が突出していることが読み取れますが、この中には、国税連携や後期高齢者医療制度に係るサービス等が含まれます。

そのほか具体的にどのようなサービスが提供されているかについては、インターネット上の地方公共団体情報システム機構のホームページで公開しているサービスリスト（https://www.j-lis.go.jp/lgwan/asp/servicelist/cms_15764241.html）をご覧ください。

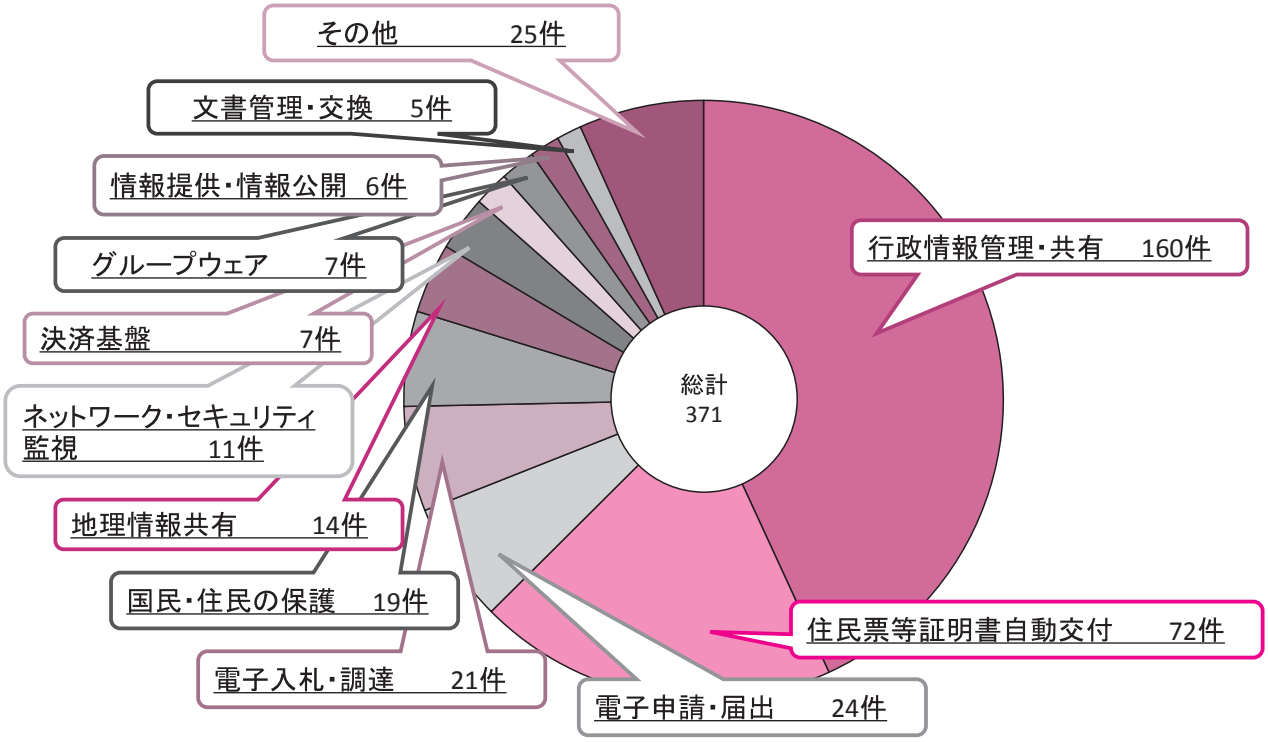
図－３ アプリケーション及びコンテンツサービスの提供者



図－4　行政事務分野別登録状況



図－5　システム分野別登録状況



5 アプリケーション及びコンテンツサービスの最近の動向

ここでは、最近のアプリケーション及びコンテンツサービス登録の傾向を、３点ほど挙げたいと思います。

まず、最近増加しているサービスをいくつかご紹介します。目立つのが、地方公共団体が提供するコンビニ交付サービスです。コンビニ交付サービスでは、地方公共団体と証明書交付センターとの通信にLGWANを利用しています。このため、自庁内に証明発行サーバを設置する場合は、LGWAN-ASPとしての登録が必要になります。

ほかには、東日本大震災以降、緩やかではありますが、防災や災害時支援、データバックアップといったBCPに関わるサービスも増加しています。また、基幹業務全般に渡るサービスも数年前に比べると増加しています。

２点目の傾向としては、複数の地方公共団体が共同で運営するサービスから、民間事業者が提供するサービスへの移行が進んでいることが挙げられます。民間事業者が提供するLGWAN-ASPサービスの種類が増えていることが背景にあると思われますが、これにより、ASPを利用する利点の一つである、システムの開発及び運用に係る業務の軽減がさらに図られることになります。

３点目は、国の施策に関わるサービスの増加で、国の新たな施策による業務システムにおいて、LGWAN-ASPの形態として全地方公共団体にサービスを提供する事例があります。また、番号制度においても一部のネットワークにおけるLGWANの利用が、総務省等において検討されているところです。

6 アプリケーション及びコンテンツサービスの利用方法

LGWAN-ASPアプリケーション及びコンテンツサービスの利用を希望する地方公共団体は、そのサービスの提供者が定める利用約款等に基づいて利用許諾を得ることにより、サービスを利用することができます。その際、LGWAN運営主体への手続きは原則として必要ありません。

新規システムの導入や既存システムの更改の際は、セキュアなネットワークであるLGWANを利用したLGWAN-ASPサービスの利用をぜひともご検討ください。

LGWAN-ASPサービス登録／接続状況（平成26年10月14日現在）

LGWAN-ASPサービス提供者の登録／接続状況は次のとおりです。

■アプリケーション及びコンテンツ	登録：379件	■ホスティング	接続：229件
■通信	登録：180件	■ファシリティ	登録：301件

登録／接続済のLGWAN-ASPサービス提供者のリストは、下記URLに掲載しています。

https://www.j-lis.go.jp/lgwan/asp/servicelist/cms_15764241.html